

## 第5回千葉市新みどりと水辺の基本計画策定委員会 議事録

1 日 時 令和5年2月6日(月) 午前10時00分～午前11時43分

2 場 所 千葉中央コミュニティセンター10階 101会議室

### 3 出席者

(委員9名) 木下剛 会長、押田佳子 副会長(オンライン参加)、  
安立美奈子 委員、菊池佐智子 委員、  
相澤孝紀 委員、長岡正明 委員、西田直海 委員、  
永野達也 委員(オンライン参加)、田所康穂 委員(オンライン参加)

(事務局) 藤代 都市局長、水間 都市局次長、石橋 公園緑地部長、  
植木 緑政課長、萩原 緑政課長補佐、保科 緑政課主任技師、  
伊藤 緑と花の推進室長、酒井 公園管理課長、石野 公園建設課長、  
渡部 農政課長、木下 環境保全課長

### 4 次 第

- (1) 開会
- (2) 議案(パブリックコメント手続きで提出された意見の取扱いについて)
- (3) その他

### 5 会議経過

次頁以降の通り

午前10時00分 開会

## 【司会】

それでは只今より、第5回千葉市新みどりと水辺の基本計画策定委員会を開会いたします。私は本日司会を務めさせていただきます緑政課の萩原と申します。よろしく願いいたします。本日出席していただいております委員は、10名中9名でございます。出席者が過半数に達しておりますので、千葉市新みどりと水辺の基本計画策定委員会設置条例第5条第2項の規定により、本委員会は成立いたします。

会議の進行に当たっては、事務局及び策定委員会の委員においては、マスクを着用いたします。声が聞き取りにくい部分が生じましたら、都度ご確認願います。

また、発言に使用するマイクについてですが、消毒をいたしますので、ご理解をお願いいたします。それでは、本策定委員会の開会にあたり、千葉市を代表しまして、都市局長の藤代よりご挨拶申し上げます。

## 【藤代都市局長】

おはようございます。都市局長の藤代でございます。開会にあたりまして、ご挨拶させていただきます。委員の皆様方におかれましては、新型コロナの影響下、そして、年度末まで、もう2ヶ月を切るご多忙の中に、ご参集・ご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

現在、4月からの新年度に向けまして、予算編成の作業を終わらせまして、この後、議会での予算の承認をいただく、そういうステップに入ってきております。

実は、来年度は、我々にとっては例年とは違ったものとなります。令和5年度になりますと千葉市の基本計画がスタートいたします。都市局におきましても、都市計画の基本的な方針を定める都市計画マスタープランを含む、ちば・まち・ビジョン、そして、皆様にご審議をいただいております、千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023といった様々な計画が始期を迎えることとなります。

千葉市の計画行政として節目の年度初めを控える中で、本日は今までご審議をいただいております、千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023を審議する最終の策定委員会となります。委員の皆様方には、1年半以上にわたるご審議を頂戴したわけでございますが、本日をもって、一つの区切りを迎えるということになります。本市と少なからずご縁あって巡り合った皆様方と、将来のみどりと水辺のまちづくりを審議する機会を頂戴しましたこと、本当にありがたく考える次第でございます。千葉市を代表しまして、改めて厚く御礼を申し上げます。

今日の第5回策定委員会では、昨年12月から本年1月まで実施いたしました、パブリックコメント手続の結果、市民の皆様から寄せられましたご意見、ご提案について、この計画案

に反映すべきかどうか、こうした部分を中心にご審議をいただきたいと考えております。毎回、活発なご審議をいただいておりますが、本日におきましても建設的なご審議をお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【司会】

ここからの進行は、木下会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

#### 【木下会長】

皆様おはようございます。事務局から議事進行を交代させていただきました、木下でございます。着座にて失礼いたします。

策定委員会も本日で5回目を数え、最終回となります。今回は、パブリックコメント手続で提出されました次期計画案への意見の取り扱いについて議論いたします。その他、計画案について確認すべき点があればそれらを扱っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。委員の皆様におかれましては、活発なご審議にご協力をお願いいたします。

毎回でございますが、審議に先立ちまして、議事録署名人を選定させていただきます。専門用語が含まれる関係で、学識経験者の中から、今回は安立委員と押田副会長にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。

本日傍聴の方はいらっしゃいますでしょうか。いらっしゃらないということで、それでは、次第に沿って議事に入って参りたいと思います。

はじめに事務局からパブリックコメント手続の結果や、提出された主なご意見について、ご説明をお願いいたします。

#### 【植木緑政課長】

緑政課の植木でございます。都市局長の藤代と次長の水間でございますが、都合により、冒頭で退席をさせていただきます。

本編をご参照いただきながら、別紙1をご説明したいと思いますので、よろしくお願いいたします。申し上げます。

はじめに、意見募集の期間ですが、令和4年12月12日から令和5年1月11日までの1ヶ月間です。計画案の公表は、市のホームページや緑政課、市政情報室、区役所、図書館で実施しております。意見の提出でございますが、12名、61件の意見を頂戴しました。

次に、意見をまとめた別紙1について、資料の見方でございますが、左側に通し番号、本編に該当するページと項目、意見の概要、市の考え方の案、計画に反映する・しないの別を示しております。

それでは、主な意見につきまして、章ごとにご説明をさせていただきたいと存じます。

はじめに、第1章です。別紙1の1ページ、通し番号は2番でございます。本編は1ページをお願い申し上げます。図や写真の後ろに番号を記して、文中にも記載した方が分かりやすいとのご意見をいただいておりますのが1点でございます。続きまして、別紙1の2ページ、番号6でございます。本編は18ページをお願い申し上げます。計画改定の趣旨についてで、社会構造の変化や新たな計画と特徴などを記載した方が分かりやすいのではないかとのご意見を賜った次第でございます。第1章につきましては、これらを含む6件のご意見を賜った状況でございます。

続きまして、第2章、緑と水辺の現状、課題に対してです。別紙1の2ページ、通し番号で10番でございます。本編は、24ページをご覧くださいと存じます。24ページの下の方に写真が出ているかと存じますが、図の中の生き物の名前が判読しにくいということで、改善をとったご意見です。続きまして、別紙1の3ページ、通し番号14番でございます。本編は、42・43ページに該当いたします。フィールド7空閑地についてです。写真を含めた紹介が望ましいのではないかとご意見を賜った状況でございます。こちらは現状では43ページの右上に図、住宅などにおける空閑地の発生ということで、イメージイラストを示させていただいている状況です。第2章は、これらを含む14件のご意見を頂戴した状況です。

次に、第3章、本計画における基本的な考え方についてです。別紙1の5ページ、通し番号24でございます。本編は、62・63ページです。目指す緑と水辺の姿のうち、緑と水辺に関わる人々の目指す姿におきまして、市の役割として、県との折衝なども記載すべきではないかとご意見を頂戴した状況です。第3章は、これを含む5件のご意見です。

続きまして、第4章、緑と水辺のまちづくりの方向性です。最も多く32件のご意見を頂戴しました。別紙1の9ページ、番号41番です。本編は、80ページになります。フィールド3公園における施策3-4公園の活用促進に係る仕組みづくりにおいて、テレワーク、オンライン学習時のWi-Fiはツールの一つでしかなく、具体的なモデルケースを設定して検討が必要であるとのご意見を頂戴した状況です。さらに、別紙1の10ページ、番号47番です。本編は、86ページです。フィールド4街路樹における施策の4-1多様な主体による街路樹管理の推進におきまして、ちばし道路サポート制度の利活用を促す取組が必要ではないかとご意見をいただいております。そのほか、別紙1の12ページ、番号57番です。本編は、106・107ページです。計画の目標のうち、緑と水辺のまちづくり活動への参加度について、市に登録されている環境団体の人数はどうかという提案を頂戴しました。

最後に第5章、計画の推進と進行管理、そして、資料編について、2件ずつご意見をいただいております。意見に対する考え方や計画への反映は、記載の通りです。説明は以上でございます。

#### 【木下会長】

ご説明ありがとうございました。先ほどの説明にもございましたけれども、パブリックコメント手続で提出されたご意見のうち、計画案に反映を図るものについては、別紙1の右側、計画案への反映という欄に、丸印、そうでないものには、ハイフン、横棒が記載されております。

各委員におかれましては、特に意見の反映を図るもの、あるいは、反映を図らないものについて、ご議論いただきたいと思います。対応の疑義があるものなどにつきましては、特にご意見をいただければと思います。

なお、事務局からは、全てのご意見の中から、章別に幾つかご説明いただきましたが、これは、事務局として特にご確認いただきたいご意見だということでしょうか。それとも、あくまでサンプルでしょうか、事前に確認させていただきたいと思います。

#### 【植木緑政課長】

緑政課でございます。代表例ということで、ご説明した状況でございます。

#### 【木下会長】

ありがとうございます。それではまず、反映すると丸印がついているものにつきまして、こういった対応でよろしいかどうか。それから、反映しないという、この横棒が付されている意見については、対応、反映の必要はないかといったあたりが、議論の主なポイントかと思しますので、委員の皆様からご意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。安立委員、お願いします。

#### 【安立委員】

別紙1の1ページ、通し番号2番についてです。全ての図に図1-1のように、付番をしていく話です。全体を見回しますと大変な作業となります。この計画は論文ではなく、分かりやすくするためのイメージがたくさん盛り込まれているものです。一つ一つにどの文が対応しているのかを示すのは非常に大変な作業となると思いますし、それを付したからといって、分かりやすくなるかといえば、そうでもないような気がします。個人的には、この作業をする必要はないと思います。以上です。

#### 【木下会長】

ありがとうございました。只今のご意見について、他の委員の皆様は、どのようにお考えでしょうか。この点から議論したいと思います。相澤委員、お願いします。

**【相澤委員】**

僕も全く同じ意見です。こういうものを読んだことがあまりなくて、通常、こちら側に文章があって、この図はこれに対応していますみたいな細かい記載がされているとか、それによって逆に文章が読みづらくなれないのかとか、何かそういうのが気になりました。僕も基本的にはいらんんじゃないかなと思います。

**【木下会長】**

ありがとうございます。そうしますと、もし、付番をしない場合は、そもそもこの図という文字ごと削除してみると。図と書いてあるから、何か番号をつけたいところがあるのかもしれない。我々は、論文などで見慣れているので、特に抵抗はないですが、確かに、文中に図の何番というのが載っていると、まあ冗長といいますか、煩雑な感じがします。

他の委員の皆様、ご意見いかがでしょうか。多分、この2番のご意見をいただいた方は、本文の説明、文中の説明と図が対応していないと、どの図に対応しているのか分からないというご意見だと思うのですが、そうせずとも、分かるということですかね。いかがでしょうか。事務局、何か意見はございますか。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。まさにご議論いただいた部分で、行政計画の場合は、必ずしも図表を明確に表現するという決まりはございません。私どもの従前計画を参考したところでは、キーワードにありました、分かりやすくということの主眼にさせていただいておりますので、委員会にお諮りして、決定いただいた形に、事務局としては従いたいという形でございます。

**【木下会長】**

承知しました。他に委員の皆様からご意見はございますでしょうか。図という言葉も含めて、番号はいらんのではないかというご意見、分かるだろうということになります、よろしいでしょうか。分かりやすくなる、番号を付ければ分かりやすくなるのかというところがポイントかと思いますが、西田委員、お願いします。

**【西田委員】**

私も図はいらんと思います。例えば13ページ、表と書いてあるのですが、図と表と書いていないところ、27ページだと絵にも図と書いてあるのですが、図と表の区別、写真は書いてないとか、細々して煩わしいので、全然なくていいと思います。

**【木下会長】**

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。押田副会長、何かご意見ありますでしょうか。

**【押田副会長】**

おそらく、ご意見を書かれた方は、かなりきっちり読み込んで下さっていて、私も本編を見たときに図と書いてあると、どこかなと探したくなります。ですから、番号があった方がいいのかなというイメージでいましたが、お話にあったように、図が1ページの中に何個もあると今度はかえって読みづらくなるので、レイアウトさえ分かりやすくなっていれば、図がなくてもいいように思います。

**【木下会長】**

確認ですけれども、例えば、本編の8・9ページを開きますと、左側が文章、右側が図版になっています。大体この見開きの形で、図版が収まっているという理解でよろしいですか。ページをめくらないと文章と図が一致しないと見にくいかなと思うんですが、ほぼほぼ一致しているという感じがしますが。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。文章と図表で左と右の関係で対になっています。

**【木下会長】**

ということですので、委員の皆様のご意見の大勢は、図という言葉、表という言葉、それから番号も含めていないのではないかというご意見かと思えます。そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。事務局、お願いします。

**【植木緑政課長】**

緑政課、植木でございます。本編の24ページをご覧いただければと存じます。事例でございますが、両括弧のうち、下図の通りといった表現をしているところにつきましては、少しイレギュラーな状況が発生して参りますが、そういったところも今後検証しながら、委員会の全体の方向に合致させていただければと考える次第でございます。

**【木下会長】**

多少文言を調整する箇所が出てくるということです。基本的には、番号は載せないという方向で、文言も含めて再確認させていただきたいと思えます。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。どこからでも結構でございます。今日ご説明いただいたなかで、例えば、14番のご意見。別紙1の3ページですが、空閑地については、私もイラストの方がいいのかなという気がしております。分かりやすいというのがありますが、特定の写真を載せてしまうと、色々と問題もあるのかなという気がします。プライバシーに関わる問題も発生してきそうなので、イラストがいいと思います。

また、別紙1は、事前に委員の皆様にはお送りいただいているということですよ。今のところご意見はないようですが、大事なことですので、改めて各自ご確認をいただければと思います。少々時間を取りたいと思いますので。

私からですが、通し番号41番、9ページになります。公園へのフリーWi-Fiとオンライン環境のお話ですが、現在、千葉市が管理されている公園で無線LANなどを導入した事例はないという状況でしょうか。

#### **【植木緑政課長】**

緑政課でございます。積極的にこういった通信環境、デジタル化に対応した環境はないのが実態でございます。ただし、市政全般につきましては、フリーWi-Fiの関係は、適宜公共施設に導入しながら、市民自治の関係が進んでいるのが実態でございます。

#### **【木下会長】**

公園にオンライン、Wi-Fiが導入された事例があれば、そういう写真も載せておくといいかなと思ったのですが、ないということであれば致し方ないですね。西田委員、どうぞ。

#### **【西田委員】**

富田さとにわ耕園の施設の中は、Wi-Fiがありませんでしたか。

#### **【植木緑政課長】**

緑政課でございます。おそらく経済農政局さんの方では、観光的な視点からおやりになっています。本日、農政課長もご出席でございますので、説明者を交代します。

#### **【渡部農政課長】**

農政課でございます。委員からお話があった富田さとにわ耕園のWi-Fiについてですが、こちらは会議室がございまして、その中でWi-Fiが飛んでいると。Wi-Fiは、少し屋外に漏れますので、テラスのところでも取れることは取れますが、お花畑とか、そういうところまでは、電波が届いていないので、趣旨が若干違うかなと思います。以上でございます。



**【西田委員】**

80ページを読むと、こういう設備に関して、建物も公園の設備の中に入るかなど。その先にテレワークやオンライン学習を見込んだと書いてあるのですが、それを見込んで、施設の利用を促すために、Wi-Fiを通そうという話だったと思うので、該当させてもいいのではないかなと思います。

**【木下会長】**

ありがとうございます。そうですね。現在は、まだ室内にとどまっているけれど、今後、屋外にもという文脈で紹介することも可能かなと思いますが、確かに、施設の中であるから、該当しないとは言えないかなど。いかがですか、事務局。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。まさに今後ですね。屋内屋外問わず、誰でもそういったアクセスポイントにアクセスできるように活動整備していかないといけないというのは、十分認識しておりますので、そういった取組をこれから図っていききたいというのが実態でございます。

**【保科緑政課主任技師】**

緑政課の保科です。補足説明させていただきます。只今の件ですが、公園の施策についてというところで、3-4の公園活用の仕組みづくりとして、Wi-Fiに関するものを掲載しています。西田委員からのご意見にありました、富田さとにわ耕園については、農地の方の話です。富田さとにわ耕園という、耕園という名称はついているのですが、厳密に言うと公園のフィールドとは、違うところがありますので、区別しています。以上です。

**【木下会長】**

確かにその通りです。ただ、市民から見ると、そういうのは縦割りでしかない話であって、公園のフィールドなので、別に農政の取組を載せてはいけないというのは、ちょっと堅いなという気がします。いかがですか。

**【西田委員】**

食い下がつて申し訳ないのですが、富田さとにわ耕園のシバザクラの写真が載ってます、本編の43ページについて、これは農地という括りで載せているのですか。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。42・43ページにつきましては、農地の活用事例です。ご意見いた

だきました状況につきましては、公共公益施設では、今後そういったサービスが提供されていくということは十分認識していただけるのかなと存じます。

**【西田委員】**

市民としては、富田さとにわ耕園が農地という意識はなくて、耕す園なのですが、周りの耕作放棄地とかを農地化して、農地の活動、つくる活動をしています。シバザクラやコスモスが咲く公園という認識なので、入れればいいのになって。縦割り過ぎて、市民としてはちょっと納得いかないという感じがします。建物だけど、例えばそこにWi-Fiがあることで、来た人がアクセスしたいときにその近くまで行けば、アクセスできることを書いてあげると親切じゃないかなって思います。

**【木下会長】**

そうですね。イメージが湧かないと言われているので。例えば、農業公園、農地公園ではこういった取組もあると。今後、都市公園でもやっていきたいという書き方をすれば書けないこともないのかなと。いかがでしょう。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。まさに市民サービスというか、利便性の向上に資する施策だと考えますので、表現、掲載箇所も含めまして、会長・副会長にもご相談しながら、こういった表現が正しいのか適切なのか、工夫させていただければと考える次第でございます。よろしくお願いいたします。

**【木下会長】**

菊池委員、お願いします。

**【菊池委員】**

菊地です。私は、外で仕事をするという意味で、公園でのWi-Fiということで、建物の中から緑を見ることではないと思っていました。だから、逆に本編の81ページ・79ページの図に外で仕事している人がいない方がイメージとして問題じゃないかなと思っています。79ページの図は、図書館かなと思っているのですが、この中に仕事をしている風の人がいれば、そういうイメージになるのかなと思いました。図書館が外に出てきているのと、NPOか何かのワークショップをやっている人のイメージになっていて、多様な主体による公園管理の促進であるとか、80ページの公園の利用促進に係る仕組みづくりをイメージする図にするのであれば、これじゃないかなと思いました。だから、今の図にちょっと問題があ

ると。この辺を取組イメージに合った絵にしたらどうかというのも説明をいただいたときにお話をさせていただいた気がします。公園の取組イメージに維持管理の話がありますが、図には誰も維持管理をしている人がいないし、活用の方も大事ですが、管理もちゃんとしましょうと取組イメージに書いてありますが、一向に管理している人がいないのはどうなのかなってというのが気になっていました。

先ほどのWi-Fiの件についても、1人パソコンみたいなものを開いて、仕事をしている風の洋服にすれば済むのではないかと思います。何かこう休みの日の使い方しかしていないように見えて、変えられるところで工夫できると思います。以上です。

#### 【木下会長】

貴重なご意見ありがとうございます。そういう方法もありますね。既に掲載されている図を、今のような形で修正いただくことも可能です。

また、3-4の施策の下に空白がありますので、新たに絵を書いていただくという対応もあるかと思います。富田さとにわ耕園の写真を載せるとか、今のようにイラストを加えるところと思うのですが、テレワークという言葉が出ているので、これでイメージが沸くとは思いますが。農政課長、お願いします。

#### 【渡部農政課長】

農政課でございます。補足説明させていただきたいと思います。今回、富田さとにわ耕園にWi-Fiを導入した趣旨については、耕園内に会議室がございまして、民間の企業さんが実際に会議で使っています。近くの企業が会議で使用していて、そのときにWi-Fiがないと何かと不便だとのお話があったため、導入しました。

今、話題になっているのは、公園に来て、検索をしたり、屋外でちょっと仕事をしたり、そういう趣旨かと思います。我々がWi-Fiを導入した趣旨や目的は、会議室を有料で借りた方にIDとパスワードを教え、公園に遊びにきた方に提供するフリーWi-Fiではありません。会議室を借りていただいた方にサービスでWi-Fiの利用をとというもので、よくある喫茶店とかで、仕事をしているノマド関係の方向けのものではありません。そこを踏まえた上で、富田さとにわ耕園の写真を使うのは方向としてはよいのですが、ちょっとお考えになっていただいて、絵とかを入れていただくのがいいのかなど。我々の本来の趣旨ではないというところをご承知いただければと思います。よろしく願いいたします。

#### 【木下会長】

ありがとうございました。よく理解できました。そうしましたら、既存の絵を直すなり、新たに絵を加えていただくかなりの対応になるのかなと思います。私が思ったのは、テレワー

クとかオンライン学習は、仕事とか勉強だけではなくて、何気なく公園に遊びに来た人が、広い公園などであれば、色々な情報を無線LANから得る、Wi-Fiから得るということが可能かと思います。そういった利用も反映できるといいなと思うのですが、例えば、生き物の情報とかですね。公園を使う上での情報、それが無料で得られると。西田委員、ご意見はありますか。

**【西田委員】**

パスワードが必要とか、そこまでの事情は分からなかったなので、何か時間を取らせてしまったかもしれないと思っています。

**【木下会長】**

そうしましたら、菊池委員のご意見がごもっともだと思いますので、何かイメージを入れていただくということでよろしいでしょうか。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。まさに菊池委員からいただきました78ページの図、賑わいが生まれ居心地の良い環境が形成されていく公園、これは来年度から千葉公園の再整備という形で、にぎわい広場の整備の中のことを意識しております。P-PFIを活用するわけですが、施策3-1の公園の活用推進が色濃く出ているというのは実態でございまして、我々の目指すべき公物管理の部分につきましては、ちょっと表現しきれていないのも実態でございます。作業量的な部分も含めてですね、基本的にはイメージ図に管理のあり方というのを表現しきれれば一番いいのかなと、今は思っておりますが、こちらの方も前向きに検討をしていくというところでございます。これも会長・副会長にもご相談しながら、写真とかいいものがあるかどうかは、ちょっと検証しながら、より遡及できる形を考えていければと考えている次第です。

**【木下会長】**

では、そのようにさせていただきたいと思います。写真等を使うのであれば、千葉市の事例に限らなくてもいいと思います。

他にいかがでしょうか。オンラインでご参加の委員の皆様よろしいでしょうか。それではご意見がないようですので、一旦、ここで一区切りとさせていただきたいと思います。只今いくつかご意見をいただきましたが、できる限りの対応を検討して参りたいと思いますが、手が挙がりましたので、菊池委員、お願いします。

### 【菊池委員】

この計画は、令和5年に公表することいいんですよね。となると、本編25ページ、30 by 30の書き方を過去形にした方がいいと思います。例えば、カナダ モントリオール開催の生物多様性条約COP15の下りで、採択が予定されておりと書いてありますが、採択されていますし、やりますと断言しています。去年12月の段階で出されるものであれば、この書き方で構わないと思うのですが、すでに決まっていることなので、未来形ではなく、過去形に文末を揃えた方がいいと思いますので、お願いします。

### 【木下会長】

ありがとうございます。ご指摘の通りでよろしいですか。

### 【植木緑政課長】

緑政課でございます。ご指摘の通り、文末につきましては、時点修正いたします。今後の状況でございますが、冒頭で申した通り、市の基本計画が作成されて、併せて、都市計画の見直しを図っております。そこの整合の関係で、公表はおそらく、8月ぐらいに当たって参りますので、そういった時点なりを意識した表現をして参りたいという状況でございます。

### 【木下会長】

この箇所以外にもあるかもしれませんので、改めて確認をお願いします。事務局におかれましては、本日の議論を参考にパブコメの対応をご検討いただければと思います。

それでは、次の審議に移らせていただきたいと思います。続きまして、計画案の確認でございます。この場で確認したい点などございましたら、委員の皆様からご意見をお願いします。どこからでも結構です。いかがでしょうか。こちらも時間を取らせていただいておりますが、改めて、ご確認いただければと思います。菊池委員、お願いします。

### 【菊池委員】

2点ほど気になったところがあったので、分かれば教えてください。本編の100・101ページ、文章は100ページに書いてあるのですが、9-7の都市開発諸制度と連携した郊外のグリーンインフラ保全の研究です。これは、オフセットのことを言っているんですね。カーボンオフセット。都市内で緑地なり、緑が確保できないので、それを郊外部で確保することによって、その部分、貢献した部分を何かしら都市部で開発にプラスにしようと。図は101ページにありますが、オフセットという言葉を使った方がいいと思います。そうすると、用語集にもオフセットを入れて説明をしたらどうかというのが1点。

もう1点は、用語集のオフサイト貯留浸透について、説明書きが違うんじゃないかと思えます。オフサイトとオンサイトとあって、オフサイトの意味をちゃんと説明していないと思えます。敷地内できちんと貯留すること、オフサイトはそれとは別のエリアで貯留することという意味が正しいと思えます。河川や下水道・水路などとは、意味が違うと思えます。

#### 【木下会長】

事務局。よろしいでしょうか。

#### 【保科緑政課主任技師】

ご質問ありがとうございます。緑政課の保科です。初めに後半の方、148ページのオフサイト貯留浸透の説明についてです。改めて確認しますと、菊地先生のご意見の通りかと思えます。その場でのオンサイトと、それから隔地というところでのオフサイトが分かるような形で、説明書きの修文を図ります。

それから、もう1点、施策に関してです。100・101ページの郊外のグリーンインフラの保全の研究で、オフセットのご提案ですが、当方でもこれから取り組んでいく施策というところで、オフセットの数値化までは、現状はまだ研究できておりません。駐車場法ではないのですが、総じて、隔地での緑地の保全の貢献を評価するというメッセージが強いものになっていますので、オフセットという言葉に限定しないようにしています。以上です。

#### 【菊池委員】

お話の意味は分かりましたが、何かこの辺を見ると、普通にオフセットのことなのかなと思います。CO<sub>2</sub>もこういう考えでやられているというのも説明でよくこういう図が使われていたので、そういう意味なのかなとは思いましたが、そういう理由があれば、別に問題ありません。よろしく願います。

#### 【木下会長】

ここで言うグリーンインフラがどんなものを意味しているのか、伝わりにくいのは間違いないですよ。オフセットだけでもないので、オフセットと書いてしまうと、それだけかという話も出てくるところで、検討中との回答で、これからということでございます。

もう1点、オフサイトの話は全くその通りだと思います。むしろ、オンサイト貯留を市民の皆さんにしっかりやっていただきたいと伝える方が大事だと思います。そういうのが分かるようなニュアンスにさせていただいた方がいいと思えます。

その他、事務局から改めて委員の皆さんに確認しておきたい事項はありますか。

**【植木緑政課長】**

緑政課でございます。事務局としては特にない状況でございます。以上です。

**【木下会長】**

委員の皆様、オンライン参加の皆様、よろしいですか。菊地委員よろしく申し上げます。

**【菊池委員】**

どのページというわけではないのですが、コラムが幾つか入っていますが、コラムと本編とのつながりが、ちょっと分かりにくい気がするのですが、大丈夫でしょうか。例えば、77ページ、浸水と治水を両立する都川水の里公園という説明があるのですが、このコラムは、このことを言っているという説明はなくてもいいですか。緑の基本計画でもそうですが、このことについては、他にコラムがありますとリンクさせるような書き方をしているものがよくあります。この辺は、今回はあまり関係していないという理解でよろしいですか。何かあった方が読みやすいのかなと思ったのですが、どのような感じでしょうか。

**【木下会長】**

事務局の方からご説明をお願いします。

**【保科緑政課主任技師】**

緑政課の保科です。ご指摘いただいた77ページですが、76ページの方の施策2－5河川を活用したまちづくりの2パラグラフ目、都川水の里公園と関連する形にしています。

その他のページにおいても、コラムのつくりとしては、左側の文章と右側のコラムが基本的には対応する形になっています。他のページですと、本編の26・27ページご覧いただくと幸いです。緑や水辺の機能というところで、左側に熱環境の状況などを記載しているのですが、右側においては、こういった環境的な機能ですとか、様々なものをコラムという形で紹介するような形にしています。

しかしながら、ご指摘にあったような、コラムが本編のどこに対応するかという引っ掛かり、マーカーまでは、本文には示していないところがあります。26・27ページをご覧いただいても、なかなかマーカーや引っ掛かりがつけにくいところもあつたりもします。全体として、それらは表示しておりません。

**【木下会長】**

菊池委員、いかがでしょうか。

### 【菊池委員】

特段、なければならぬわけではないのですが、本文中に星印や米印を付けたかではなくて、最後に何ページのコラム参照とか、何ページにこういうことを紹介していますみたいな小さい文章を入れるということでもいいのではないかなと思いました。

お話にあった26・27ページの関係を見ると、確かにヒートアイランド以外の緑の効果が3つあるということで、そのまま対応するのは、難しいかと思うのですが、その他の緑の効果については、27ページのコラム参照という文章で、いいのではないかということです。次ページのコラムで「くらべてみよう」と言われても、何がと、ちょっと思ったものですから。そういう緑の機能は、単にヒートアイランドだけでなく、生物多様性やリラックスもあるし、緑を介してコミュニティとか、循環というものも考えられますと読み物としても繋がりを持たせた方がよいかと。結構、大学のテキストとかもそのようなつくりになっていたりするので、あった方が理科の教科書的にいいのかなと思ったのですが、特段、なければならぬわけではないので、その辺は他の委員の方とかもどう思われているか、ご意見あれば、聞いてみたいです。

### 【木下会長】

ありがとうございます。29ページのコラムの「くらべてみよう」は、今更で恐縮ですが、文章でいうと、どの辺りと関連があるのですか。

### 【保科緑政課主任】

木下会長からのご質問のあった、くらべてみように関しては、見開きページの左側で、緑と水辺のフィールドでの施策の展開状況に触れるところ、この全体に関わってくるということで記載しています。公園ですとか、農用地区域の面積ですとか、そういったことと関係しています。

### 【木下会長】

確かに、よく関連しているところもあれば、ちょっと分かりにくいところがあるのは事実ですね。文章をちょっと修正しますか。それとも、コラム参照みたいなものを入れた方がいいとお考えですか。

### 【菊池委員】

タイトルをもう少し分かりやすいものにする方法もあると思います。本文のキーワードがタイトルになっているコラムであれば、よいのですが、そうでないものとかも時々あるので、そうなるのであれば何を意味しているのか、分かりやすくした方がいいと思います。



どちらにしても、本文とコラムをせっかく書き分けているので、コラムの意味は、さらに詳しい人が読むとか、詳しく知りたい人が読むとか、ここをちょっと注目して欲しいところがコラムになっているので、そういうふうな位置付けに読めないのが、残念だなと思っています。何か工夫いただければと思います。

#### 【木下会長】

先ほど、菊池委員もおっしゃったのかもしれませんが、掲載ページを載せたコラム一覧もあるといいかなと思いました。只今のご意見について、どういう対応にするか事務局の方から何かあればお願いします。

#### 【植木緑政課長】

緑政課の植木でございます。各委員からも、コラムは箸休めだけでなく、より分かりやすく、この計画を理解していただくために掲載しているものと考えておりますので、どういった形で、整理表現することが、遡及というか理解に繋がるかというのは、ちょっと会長・副会長にもご相談しながらですね。記載内容については、ノーグッドというわけではないと考えておりますので、より分かりやすく、もう一工夫を図ればというのが回答でございます。

#### 【木下会長】

そのような対応をしていただきたいと思います。他に、押田副会長、お願いします。

#### 【押田副会長】

細かいことですが、菊地委員のご意見とも関係してくるのですが、唐突感のあるところが見られて、3ページを開けていただいているいいですか。2ページの都市宣言と対になっていると思うのですが、3ページの絵面で1枚の大きな写真とその下のイラストがセットになっていますが、これが都市宣言とどう対応するのがちょっと分かりづらいのです。キャプションも宣言文と多少文言を合わせていただくとかできますかね。大きなイラストがゆえに、インパクトが強すぎて、どう対応するのか躊躇してしまうというか、読んでいる上で考えてしまうので、その辺をご対応いただけるとありがたいなと思いました。

#### 【木下会長】

ありがとうございます。先ほどのコラムと一緒にですね。対応関係をもっと明確にということです。確かに、2・3ページはどういう意図ですかね。分かるような気もしますが。

### 【菊池委員】

菊池です。3ページ上の千葉市には色々な要素がありますという図は分かりますが、その下の日曜日から土曜日まで、こう考えてるとするのは、ちょっとよく意味が分からないというか、日曜・月曜・火曜でも、生活の中で、緑と水辺、公園と触れ合う時間を取れるようになりましょうというイメージなんだろうなと思うのですが、何かよく分からないという印象ですね。

説明文を、タイトルをちょっと短くしすぎてるんじゃないかと思うんですよね。もう少し分かりやすく、日本語は長くなってしまいますけど、文章の説明を入れるとか、その上の千葉市の中に色々な要素が入っているというのも、図の上に書いてある太字の部分で説明をされているのですが、これを少し補足するように、千葉市にはこういうものがあって豊かな千葉ですみたいな説明を入れてあげた方が親切かと思います。

### 【木下会長】

ありがとうございます。3ページ下の図、人物よりも丸に囲まれた中の緑と水辺の絵の画質が、印刷版ではもっと良くなるということですよね。これだと見えないと思いますので、ここをむしろしっかり見せた方がいいかなと。あとキャプションですね。

ここだけに限らない問題かもしれませんので、全般的に図版と本文の内容との関係はちょっと改めて見直しが必要かなと思いました。そのように対応させていただくということでしょうか。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。長岡委員、お願いします。

### 【長岡委員】

3ページ、千葉市の郷土史の写真です。魅力がいっぱい入っている写真ですが、これをもう少し大きくできないかなと。虫眼鏡を使わないとよく見えないというがあるので、できる限り大きくして、千葉市には魅力なところがいっぱいあるんだよというところを強調してもらえたらと思います。したがって、下の図は、多少は小さくなくてもいいんじゃないかと思いました。以上です。

### 【木下会長】

大事なご意見をありがとうございます。私もそろそろ見えにくい年齢です。これは必ずしも、余白を必ず取らなくてもいいのでは、そういうページがあってもいいのではないのでしょうか。画像を大きく載せるということです。そういうふうにして見やすくしていただければいいと思います。ここに限らず。他にいかがでしょうか。相澤委員、お願いします。

### 【相澤委員】

ものすごい細かことなんですけど、151ページ、資料集のパークマネジメント団体のところですが、あんまり重要じゃないと思うのですが、3行ある説明書きの内、真ん中の管理だけでなく、イベントの開催、子どもの遊び方の指導、ルールづくりなどという説明中の「遊び方の指導」というのが、ちょっと気になっちゃって。パークマネジメントで、団体と一緒に子ども達の遊び場づくりをやっているんですけど、指導したことがなくて、ちょっとまずいなと思っています。遊び場づくりとか、遊び環境の整備とか、そういった文言に変えていただくことはできますか。

### 【木下会長】

大事なご指摘をありがとうございます。いかがでしょう、事務局。

### 【植木緑政課長】

緑政課でございます。仰る通りパークマネジメントについては、手づくり公園では、整備団体がそのままパークマネジメント団体になっていただいています。その際には、遊び場づくりをやっていただいています。運営までは難しい実態もありまして、数は多いわけではございませんが、相澤委員のご指摘の通り、適切な表現に改めていきたいと考えています。

### 【木下会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。そろそろ予定した時間に近づいて参りましたので、一区切りとさせていただいてよろしいでしょうか。それでは、計画案の確認について、以上とさせていただきたいと思えます。予定していた審議がこれで終了いたしました。最終回も活発なご議論・ご意見をいただきまして、非常に充実した議論ができたかと思えます。改めまして、御礼申し上げます。

なお、本日の議論を踏まえた事務局による調整の中で、修正などが生じる場合もあるかと思えます。事務局から委員会に相談があった際には、押田副会長と私の方で対応をさせていただきたいと思えます。その旨ご了解をいただければと思えます。

また、事務局による計画案の修正が完了した後、私から千葉市長宛に答申という形で、次期計画案をお渡ししたいと思えます。こちらもご了解いただきたくお願い申し上げます。

それでは、本日が最後の委員会となりますので、これまでの締めくくりに、委員の皆様から、お一人ずつ感想などをいただければと思えます。気楽に考えていただいて。安立委員、菊地委員、相澤委員、長岡委員、西田委員、田所委員、永野委員、押田副会長の順でお言葉をいただければと思えます。それでは、安立委員、お願いします。

**【安立委員】**

私自身、緑と水辺の計画づくりという形で市政に関わったのは初めてで、不用意な発言が多かったと思い、反省しております。ですが、個人的には、とても良い経験、勉強をさせていただいたと感謝しております。ありがとうございました。でき上がった冊子を見るにつけ、すごく素晴らしいものができたと思います。皆様、大変お疲れ様でした。どうもありがとうございました。

**【木下会長】**

ありがとうございました。菊地委員、よろしく申し上げます。

**【菊池委員】**

最初にお話しいただいたときに、今まではあまり千葉市と関係がなく、住んでるわけでもないというところもあったので、いいのかなと思っていたのですが、色々関わってお話を聞いていく中で、やはり力になればと思って、今のように意見をさせていただきました。まだ先があり、これでお疲れ様ですというわけにいかないのですが、完成するのを楽しみにしております。ありがとうございました。

**【木下会長】**

ありがとうございました。相澤委員、よろしく申し上げます。

**【相澤委員】**

僕、子ども達の外遊びの場所にずっと関わっていて、いつも格好からですね、本当にまずいんじゃないかと思いつつながら。僕ちょっと終わったら、すぐに公園に帰らなきゃいけない。知らないことが多く、何を言っているのかと、いつも悩みながらなんですが、個人的にとってもいい経験をさせていただいたということと、あと千葉市が何を大切にしたいのかということにちょっと触れさせていただいたことが、すごくよかったなと思っています。僕十何年前に千葉市に引っ越してきて、とってもよかったなと感じました。ありがとうございました。

**【木下会長】**

ありがとうございました。長岡委員、よろしく申し上げます。

**【長岡委員】**

改めて、緑について勉強させていただきました。私は、ある時期、山の中で育ち、炭焼き

をやったり、田植えをしたり、薪割りをしたりという生活でした。本当に、山と田んぼの中で育ったものですから、田んぼの大切さ、緑の大切さは、特に以前に申し上げたかも知りませんが、やっぱり米を作る、田んぼづくりをいかに昔の人が、苦勞しながらやってきたのか。千枚田じゃないですが、殿様が見に来て1枚足りない。殿様が座っているところがそのひとつですという指摘をしたくらい、田んぼを大切に、米を作ってきた。それがある時期に、米作らなくてもいいよと変わってしまって、外国から買った方が安いということで、千葉の田んぼの多くは荒れているという状況です。

日本は、緑、山のまちです。千葉県でも有名な杉のまちがあるくらいで、本当にこれを機会に、市民が、緑、山、海に改めて視点を当てて、もっと細かい生活の身近なところで、こういうことを大切にしていかなきゃいけないんじゃないかと気づくようなものになるんじゃないかと思しますので、計画ができた暁には、広く市民に伝わることを願っております。

なにより事務局の方が大変でした。現場に行かなきゃいけないんですから。行って、調べて、写真を撮って、こんな膨大な資料をつくり上げた。本当に事務方の苦勞に感謝申し上げます。本当にご苦勞さまでした。

#### **【木下会長】**

ありがとうございました。西田委員、お願いします。

#### **【西田委員】**

言うのは易しで、本当にここまで色々ご苦勞されたというところで、何かこう測り知れない時間と努力と工夫と、色々なことがあったんだと思います。写真とか、もっとピキッとするといいと思っているんですけど、印刷したときにそうなるんだらうなって、とても期待しています。

それで、やっぱりこれをつくることで色々と一緒に勉強させていただいて、ここから先は行こう、実行するっていうことに移っていくと思うんですね。この理想を少しでも1歩でも2歩でも実現させていくかっていうところがすごく大切になると思うので、私も千葉市に住んでいて、今こうやって眺めていて、ここが千葉市なんだと思って、色々緑の多い千葉市のことをするのは、本当に広くて、たくさんの方があって、大変だけれども、色々な人達を巻き込んで、楽しくやっていけたらいいなと願っているし、そう思っています。

お疲れ様でしたというか、これからも一緒に頑張りましょう。ありがとうございました。

#### **【木下会長】**

ありがとうございます。オンライン参加の田所委員、お願いします。

## 【田所委員】

私、公募委員で参加したわけですが、実は、千葉大学の大学院で地方創生の研究をしまして、頭の体操だけじゃなくて、実際に何かその役に立ちたいということで、応募したわけです。大学院で色々学んだことの中で、事務局に無理難題をちょっと押し付けるようなこともありまして、大変ご迷惑かけたと思うんですけれども。

一つ、せっかくこの委員会に参加したんですが、今後もこういった活動にできるだけ参加するという意味で、委員会で私も提案したのですが、官民連携デジタルプラットフォーム、これを是非早期に実現して、私も一市民になった後でも、市民参加で色々ディスカッションができるような場を作って欲しいと思っています。

この委員会が終わってからも、私自身は個人的にNGOとか、そういう活動をやってみたいと思っています。現実には、私は近くの公園で散歩するのですが、公園を基本的に四周するのですが、一周目はごみ拾いをやっています。だから、これも一つのNGOの活動の一種じゃないかと思っています。

相澤さんにプレーパークを作りたいというような交渉をもちかけたこともあるのですが、ちょっとこれは実現できていないです。色々な構想を持ってののですが、なかなか実現するということはないのですけれども、そういう構想を温めながら、少しずつできるようなことはやっていきたいと思っています。

色々私も無理難題を言いましたけれども、今回の計画書は非常によくできていると思います。一生懸命やったという。他の計画書と比較しても非常に充実していると思いますね。私も色々なことを言ったんですけれども、少しはこの計画、充実した計画づくりに貢献できたのかなと思いますし、事務局のご苦労にも喝采いたしたいと思っています。ありがとうございました。以上です。

## 【木下会長】

ありがとうございました。オンライン参加の永野委員、お願いします。

## 【永野委員】

皆様、ここまでお疲れ様でした。私、一時国外にいたときを除いて、千葉市に40年以上、住所があったのですが、昔は地元がそんなに好きではなくて、自然も中途半端で、都市も中途半端だと思っていたところがあって、外に出ていったところがありました。20代から30代にかけてヨーロッパで生活をしていて、そのときに東日本大震災があり、すぐに帰ろうと思ったのですが、飛行機が飛ばずに帰れなくて、現地でニュースを見て、そういう中で、よくチャリティーコンサートをやっていました。ふるさとの歌をやっていて、涙がとまらなくて、そのときに自分が地元をどれだけ大事に思っているかを感じました。そのときに、やは

り花見川とか検見川浜とかが思い浮かぶんです。地元の友達や家族とかと一緒に。

子供の時と比べて、今も変わらずに花見川で花見とかがあって、それが年とともに、すごく大事なものに思えてくるところがあって、そういう思いもあって、これを今後の人達にも残していきたいなと思い、参加させていただきました。

自分に何かができたかという、正直、お役に立てることは何もできなかったなと個人的には思っているのですが、委員会の皆様と何より事務局の方々の努力の結晶とも言えるこの計画を見ていて、長く千葉市に暮らしてきた一人として、安心するというか、今後、これからこれを実行していかなきゃいけないわけで、大変なことが、たくさんあると思うんですけども、こういう方々がやっているということを知ることができて、すごくよかったなと思っております。そういう意味でもすごくいい経験ができましたし、こういう方々がいるということをもっとたくさんの人に知っていただきたいと思うとともに、それ以上にこの計画が実行されていくのを楽しみに見ております。なので、今後ともよろしくお願いいたします。以上です。

#### 【木下会長】

ありがとうございました。オンライン参加の押田副会長、お願いします。

#### 【押田副会長】

皆さん、もうちょっとでありますけれども、お疲れ様でした。私自身、千葉市のこの計画につきましても、学生の卒業研究等で活用させていただくことは多々ありましたが、実際に新たな計画策定に関わることになるとは思ってもいなかったもので、大変勉強になりました。千葉市の計画そのものは、大昔ですが、私の学生時代に、当時の先進事例として、指導教員から紹介され、すごく印象に残っていたものだったので、それに関われたということは非常によかったと思っています。これに関しては、改めてお礼申し上げます。

まだ完成していないのですが、今度はそれを活用するとか、計画を実行する段階が来る上で、また違う立場で、これを見ていけたらなと思うと同時に、これだけ多くの方の色々な意見を反映していいものができたと思っておりますので、1人でも多くの方に手に取っていただきたいなと思っている次第です。

最後にですが、たまたま、千葉市の様々な取組や計画に参画させていただく中で、この事務局の方の機動力と調整力に非常に感謝を申し上げている次第です。色々な部署を見ている中で思ったのが、やはり、この緑に関わる部署の方々というのが、まちを先導して色々こう考えてくださっている。先ほど出てきましたように、都市計画の方でも、今進めている最中ですが、実はこの緑と水辺の基本計画のところまで、言っていないのか分からないのですが、まだちょっと同じスタンスに立っていない。今進めているからということもあるのですが、

いかにこの部署が素晴らしいチームだったのかということを考えさせられました。私の方も無理難題を言いましたけれども、お話を聞いていただいて感謝申し上げます。本当に皆さん、ありがとうございました。以上です。

#### 【木下会長】

皆様、ありがとうございました。最後に私の方からも、所感を述べさせていただきたいと思います。

まず、委員の皆様へ。本当に多方面、色々な角度から、素晴らしいご意見、貴重なご意見をいただきましたことに感謝申し上げます。

それから、皆様から言われていますように、それを受けて、事務局の皆さんの方で、最大限色々な対応をしていただけたと思っております。こちらも御礼申し上げます。

せっかくいただいた意見が十分に計画に反映できなかったといった部分も、もちろん多々あるかと思えます。それに関しましては、委員会の進行も含めまして、私の力不足をお詫び申し上げますと思っておりますが、本当に皆さん言われるように、他市と比べても引けを取らない、立派な計画ができたと思っております。

私は千葉大で教員をやっておりますが、私のいる園芸学部は松戸にございまして、千葉市とは、現在は、特段強いつながりはないのですが、学生時代、私は千葉大で西千葉キャンパスのそばに3年間住んでおりました。その頃の千葉市は、私の印象ですと非常にまだ色々インフラが未整備であったり、危なそうなところもあったように思いますが、現在は、素晴らしいまちになってきたと思っております。

今後、緑と水辺という観点から、この計画をもって、より良くしていくことができると本当にいいなと思っております。計画はこれからが大事だと思います。これをいかに実現し、先ほど、色々な構想があると田所委員が仰っておられましたが、市民の皆さんがお持ちの構想を手助けできる計画でありたいと思っておりますので、それをサポートできる計画の実現に向けて、市民や委員の皆さんのお力も必要だと思いますので、是非、この計画を見守っていただくことや具体的なお協力をいただけるとよいと思っております。

私自身も、非常に勉強させていただきました。皆さんのお陰と思っております。改めまして御礼を申し上げて、私からの所感とさせていただきます。どうもありがとうございました。

それでは、事務局の方に司会をお返しします。

#### 【石橋公園緑地部長】

公園緑地部長の石橋でございます。委員の皆様には、長時間にわたりまして、慎重なるご審議をいただきまして、大変ありがとうございました。これから、若干の修正作業がありま



すけれども、お陰様で本市の新たな緑の基本計画であります、千葉市緑と水辺のまちづくりプラン2023案ということでまとまりまして、3月に答申をいただける運びとなりましたこと、心から感謝を申し上げます。

振り返ると、第1回委員会が令和3年の10月でありました。それから、本日までの5回のご審議ということで、大変、充実した内容の計画案とすることができたと思っております。木下会長、また、押田副会長のご指導をはじめ、委員の皆様から本当に貴重なご意見、ご提案を頂戴して、ここに至ることができたと思っております。改めまして、感謝申し上げます。

私ども事務局においては、不慣れな点がございまして、スムーズな運営ができなかった点が多々あったかと思っております。その点につきましてはお詫び申し上げます。

このプランの中では、55の施策うち、新規が14件で全体の4分の1を占めます。拡充等もございまして、これを成し遂げていくのは容易なことではないと思っております。しっかり市内の連携をとりながらですね、確実にこれらを進めていきたいと思っております。

また、プランの中にも施策として盛り込んでおりますけれども、市民、団体、企業の皆さんとの協働が非常に重要なポイントと思っております。その第一歩は、やはり計画をしっかりと皆さんに理解していただくこと、これが必要だと思っております。このプランを普及していくための工夫、こういったものについても引き続き検討して参りたいと思います。

実際の策定公表は8月頃となります。その間、しっかりとした準備、装丁などをしていきたいと思っております。新しい計画に基づきまして、豊かな緑と水辺をより一層価値あるものとして、市民の笑顔を増やしていくような、そうした取組を私どもとしても努めて参りたいと思っております。

結びになりますが、委員の皆様のご健勝をお祈りしますとともに、引き続き、本市の緑と水辺のまちづくりにご支援賜りますよう、お願い申し上げます。御礼のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

午前11時43分 閉会

会 長： \_\_\_\_\_

議事録署名人： \_\_\_\_\_

議事録署名人： \_\_\_\_\_